

いでは

こちらからもご覧になれます <http://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/hira-fuku>発行:平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389'19.2.28
週報第 730 号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第8週(2/18~2/24) (7週)	
	発生数(人)	前週との比較
インフルエンザ	26 (42)	↗
感染性胃腸炎	20 (18)	↗
溶連菌咽頭炎	7 (5)	↗
突発性発しん	1 (2)	↗
水痘	1 (0)	↗
咽頭結膜熱	1 (0)	↗
伝染性紅斑	0 (0)	→
RSウイルス	0 (0)	→
ヘルパンギーナ	0 (0)	→

(参考) 秋田県の状況

第7週(2/11~2/17)

<全県の発生状況>

1位: インフルエンザ
(全県で前週より42%減少)2位: 感染性胃腸炎
(全県で前週より1%増加)3位: 溶連菌咽頭炎
(全県で前週より21%減少)

4位: 伝染性紅斑

5位: 突発性発しん

県内 警報・注意報

インフルエンザ: 警報
 秋田市・大館・北秋田・能代・秋田中央・由利本荘
 " : 注意報
 大仙

伝染性紅斑: 警報 大館

横手地域・学校欠席者情報(2/25)

疾患名	イン	感	マ	水	流	溶	お	そ
施設 (数)	ン	染	イ	痘	行	連	た	の
保育所・園 (35)	1	2				4		1
小学校 (22)	5			1				
中学校 (8)	3							
高校(7)								
特別支援 学校	2							

感染症情報収集システムより(人)

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気をつけましょう!

例年、冬季及び春から初夏にかけて多い感染症です。
 秋田県では1月から2月にかけて増加傾向にあります。

Q 症状は?

A 感染すると2~5日間の潜伏期間を経て、発熱、のどの痛み、全身倦怠感等の症状があります。

Q 治療は?

A 抗菌薬が有効です。しかし、自己判断で服用を中止すると、リウマチ熱や急性糸球体腎炎等を併発するおそれがあります。処方された薬は指示通りに飲みきりましょう。

